

KHJ全国ひきこもり家族会連合会主催の研修会が新しくなりました

# 「ひきこもり」にかかわる 毎月定期開催! すべての皆さんと共に学ぶ研修会

全世代に渡る多様なひきこもり支援 ひきこもる本人とその家族を理解するために

## サポートを求めているも つながれない現状

当会の最新の実態調査(2023)では、ひきこもっている本人の85%、家族の78%が支援を必要としています。しかしながら、求めているサポートを受けていない本人は70%に上り、家族以外とのつながりが無い本人は40%という結果が出ています。本人は何らかのサポートを望んではいらぬものの、自分に合うサービス、利用できる資源(人、モノ、環境、制度)が限られている現状が顕在化しました。医療機関の受診が困難な方も37.6%に上り、障害福祉サービスの利用率に至っては20%にとどまります。

ひきこもり状態とは、さまざまな要因によって社会や地域、学校や職場からの退避を余儀なくされ、ひきこもることを選択せざるをえなかった状態像です。当会は設立から20年以上、「ひきこもりは甘え、怠け、親の育て方、本人の努力不足」という偏見、「ひきこもりは悪いこと、外に出さねばならない」という現状否定、世間体や社会の同調圧力から、いつしか本音を出せなくなってしまった多くの痛みと経験から活動を続けています。全世代に渡る「ひきこもり」という状態像は、現在では、8050問題に顕著なように、ご本人とその家族(親・きょうだい)が置かれたいくつもの問題が複合化しています。支援における関係づくりのためには、現状への多様な「理解」が必要不可欠です。

当会KHJでは、全国の実践者、専門家、有識者と連携しながら、「人権と権利擁護」「人としての尊厳」を最優先に、本人視点での理解、本人の自己決定を応援、伴走できる本人支援、家族支援を推進しています。本研修会が、全国の相談窓口や、支援現場、8050世帯などへの福祉丸ごと支援、居場所、地域の集いなど、さまざまなサポート実践の一助となれば幸いです。

## KHJ相談事業を始めました

相談事業は、ご本人、ご家族への個別相談(ピア相談含む)、支援者及び相談支援事業者の方への事例相談、相談事業アドバイザー、家族教室、家族会、居場所づくり(メタバース居場所も含む)についての相談など。講演会や研修会への講師派遣(実績多数)も引き続き承っております。詳しくは、本部事務局までお問合せください。

MAIL:info@khj-h.com

TEL:03-5944-5250 (平日 13時～19時)





研修  
開催

毎月  
第4日曜日  
AM09:00～12:50  
オンライン研修会

※8月のみ第3日曜

2024年 令和6年

- 7/28 国の施策とひきこもりの実態  
KHJ実態調査から～家族会の事例発表
- 8/18 ピアサポート、居場所、家族会  
～本人・家族の体験～ ※第3日曜日
- 9/22 「社会モデル」としてのひきこもり支援  
・医療モデルから社会モデルへの理解  
講師 長谷川 俊雄 (白梅学園大学名誉教授)   
・本人の声に耳を傾ける  
講師 林 恭子 (一般社団法人ひきこもりUX会議 代表理事)   
・家族の葛藤と社会保障  
講師 関水 徹平 (明治学院大学社会学部社会福祉学准教授) 
- 10/27 本人の視点を尊重する支援
- 11/24 本人・家族とかわり続けるための支援づくり
- 12/22 本人の意思を尊重した家族支援の実践  
(親・きょうだい)

2025年 令和7年

- 1/26 ひきこもりを取り巻く地域・環境づくり
- 2/23 多様な状況(8050、孤立、危機的状況)を  
連携実践事例から考える
- 3/23 地域連携とワークショップ  
(対話を用いた関係づくりワーク)

お  
申  
し  
込  
み

各回の講師(有識者、専門家、支援実践者、ピアサポーターなど)研修内容の詳細は、ホームページまで。

